

岩手教区報

第353号
 立教185年5月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



世界平和こそ親神様の望み
 主事・集会員 中田祥浩

南米コロンビア出身の青年A君が、日本に来たのは20年程前のこと。島ヶ原コロンビア教会所属の彼は、天理語学院TLIにて日本語を学び、その後、天理大学へと進学しました。大学在学中、ウクライナにあるキエフ大学から交換留学生としてやって来た女子学生と出会い、数年の交際を経て、めでたく結婚。本部教祖殿にて式を挙げ、結婚後は夫婦で海外部の御用に関わりながらおちばで生活し、二人の子宝にも恵まれ、熱心な信仰家庭を築きました。おちばでの勤務を終えたA君家族は、奥さんの実家のあるウクライナの首都キエフへ引っ越しました。また二人の結婚式の際には、未信仰だった奥さんのご両親もウクライナから来日され、おさづけの理も戴かれています。

天理大学とキエフ大学は交流協定校として20年前より留学生が行き来しています。当時、A君夫妻との繋がりから、何人かのウクライナ人留学生もようぼくととなり、さらにはウクライナへ帰る際に神実様を戴き、講社として祀り、日々信仰されている方もいます。

8年前、教祖百二十年祭の三年千日活動のなかで、支部ごとに「ようぼくの集い」が開催されました。その折に、本教として初めてウクライナにて「ようぼくの

集い」が開催され、大きなニュースとなつて『天理時報』にも写真付きで紹介されましたが、その会場はA君の奥さんの実家でした。ウクライナと聞くと、遠くにある見知らぬ国のように感じられる方もいらっしゃると思いますが、既に教祖の御教えが伝わっている国であり、教友たちがいる国であります。

現在ロシア軍によるウクライナへの侵攻が、日に日に激化しております。痛ましい戦いによって、人間同士が互いに傷つけ殺し合い、困難に陥る人々が増え続けています。目を疑うような事実を目の当たりにし、強い動揺と悲しみを禁じ得ません。すべての人間の元親であり真実の親である親神様は、その啓示のなかで、世界中の人間は皆わが子であり、お互いは等しく兄弟姉妹の間柄であつて、他人ではないと教えられています。そして、時として子供たちが互いに争い傷つけ合う世の姿に対し、強い残念の思いを示されています。いま世界に起きています。争いが一刻も早く治まり、世界中の人々がこの真実に目覚めて、人々が互いにたすけ合う真の平和世界が実現することを祈るばかりです。決して他人事ではありません。我が事として共に祈らせていただきます。



「声（言葉）は肥や」

ある事から見事な鉢植えの花を戴きました。花は見る者の心を和ませ、楽しんでくれるものです。その花が、ある朝、生気を失い萎れかけておりましたので、あわてて水をやりました。花々は一斉に生気を取り戻しました。花の命の元は水であることに、改めて知ることが出来たことです。

そこで、人間の命の元は何だろうか考えてみました。それは言葉ではないだろうか。それも美しい言葉、人の心を奮い起こし励ますような言葉ではないだろうか。汚水が花を枯らすように、人を悲しませたり、人を見下げたり、おとしめたりするような言葉は、人の心を腐らせ、弱め、嘆かせ、その人の人生まで変えてしまうことになりましょう。

言葉を使えるということは、呼吸ができるからです。教祖は「天に仰ぐ月日こそ

親神の天にての姿であり、温みと潤いをもつて、昼夜の別なく万物を守護下され、人間身の内（身体）へ入り込んで、つく息（月、潤い）、ひく息（日、温み）五分五分の守護を下されているのや」と教えられます。さらに呼吸は、つく息は月様（くにとこたちのみこと）、ひく息は日様（をもたりのみこと）と教えて頂いております。また、吐く息は自分であり、吸う息は相手であり、五分五分の理と諭されています。従って、話し合いをするということは相手の話を十分に聞いて、自分もまた十分話すことで成り立つと言えましょう。さらには、息を強く「ふうふう」と吐けば冷たい息となります。逆に、穏やかに「はあはあ」と吐けば温かい息となります。特に、「肺と呼吸」を「はいと息・意気」と解し、誰に対しても都合の付く限り「はいはい」と低い素直な心で接していけば、周りの人とも意気が合い（いきがあい）生き甲斐がわいてくる。一方、肺が悪ければ息をするのが困るようになり、「はい」の返事が悪ければ相手の人との意気が合わず困ることになるでしょう。

他人を褒め、喜ばし、励ますなら己が心も爽やかでしょう。逆らい、不足し、腹を立て、怒りの心で動揺するなら、不愉快な日々となることでしょう。言葉は人の心を生かし、我が身をも左右することがあります。

教祖は「声（言葉）は肥やで」と諭されました。声（言葉）を農作物を育てる肥料にたとえて、どんな時もとげとげしい言葉を口にせず、語気の毒々しい言葉を出さず、優しい温もりのある言葉で人を育て助けたいものであります。

教えによれば「言葉ひとつがようぼくの力」とも説かれております。そしてまた、「切り口上、捨て言葉、愛想づかしは神は嫌い」と、信仰者に対し教祖は厳しい中に親心をもつて陽気ぐらしへとお連れ通り下されております。有難い事であります。

行事予定 【5月分】

- 1日 少年ひのきしん隊50周年 教区巡回（10時）
- 7日 ひのきしんフェス会議（15時）
- 14日 学生担当委員会例会 on line（19時30分）
- 15日 女子青年例会（10時30分）
- 28日 青年会例会（18時）
- 29日 献血ひのきしん（9時）
- 30日 少年会例会（12時）
- 31日 主事会（15時）



鈴木眞彦教区長就任 教区役員、職制一覧

去る3月26日、教区長に鈴木眞彦磐井分教会長が就任。それに伴い、教区の新しい役員、職制が、4月1日発表された。

- 教区長 鈴木眞彦
- 主事 中田祥浩 高橋邦和 鈴木眞理 千葉道雄 高橋邦之 権谷正一
- 集会員 中田祥浩
- 支部長 (九戸) 権谷正一 (二戸) 羽澤道広 (盛岡) 高橋邦和 (三陸) 高橋邦之 (花巻) 中田祥浩 (奥州) 崎山道範 (県南) 千葉道雄
- 会計部長 中田祥浩
- 教務部長 鈴木眞理
- 次長 北山修一
- 布教部長 権谷正一

- 布教部次長 羽澤道広
- 次長 工藤裕樹
- 祭事部長 鈴木眞理
- 次長 村松義則
- 厚生部長 高橋邦和
- 次長 高橋邦之
- 献血推進委員長 小笠原敦子
- 広報部長 高橋邦之
- 次長 滝浦 剛
- 啓発担当者 千葉道雄
- 道友社代表社友 高橋邦和
- 婦人会主任 鈴木眞喜
- 青年会委員長 村松義朗
- 少年会团长 佐野喜与志
- 災救隊隊長 千葉道雄
- 学生担当委員長 鈴木眞浩
- 教職員集代番話人 門間道明
- 書記 崎山道範
- 女子青年委員長 舟生つばさ
- 学生会委員長 崎山陽平
- 地方委員 (九戸) 北山修一 (二戸) 羽澤道広 (盛岡) 門間道明
- 関田元之理



婦人会

- (三陸) 佐野喜与志
- 工藤裕樹
- (花巻) 村松義則
- (奥州) 及川 均
- (県南) 鈴木裕一
- 鈴木雅和

「後継者勉強会」【6月25日】

教区婦人会は左記の通り、後継者勉強会を開催します。今回は女鳴物を勉強させて頂きます。参加される方は、5月31日までに各支部主任へご連絡ください。

- 日 時 6月25日(土) 10時30分～14時30分
- 会 場 岩手教務支庁 参加御供 1000円
- 持ち物 琴の爪、習いたい鳴物 (琴は教区で用意します)

「ひのきしん強調月間及び ひのきしんフェスティバル」 ― 提唱90周年の節目に ―

岩手教区では、4月29日から5月29日までを「ひのきしん強調月間」として、4月29日に限らず何回でもひのきしんを勤めようと呼びかけています。これは今年が全教一斉ひのきしんデー提唱90周年ということから、老若男女問わず一人でも多くの方々に、一回でも多くひのきしんを実践して頂くというものです。

参加者には記念品を用意していますので、是非ご家族をはじめ広くお誘いして頂き、いつでもどこでも誰とでも、そして一人でもひのきしんを勤めて頂きたいと思えます。

5月29日に開催予定の「ひのきしんフェスティバル」は県内のコロナ感染症の現状を鑑み、当初の内容を縮小することになりました。献血ひのきしんは感染症対策に万全を期して、予定通り教務支庁に献血バスを配車して頂き実施します。当日、献血にご協力下さる方、一緒にご来場下さる方々へ参加記念品を用意しております。また、教務支庁のひのきしん

んやお楽しみ行事も企画しています。コロナ禍で献血者が激減する昨今、血液を必要としている方のお役に立てるよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ・献血受付時間 9時～11時30分
- ※初めて献血をされる方は、本人確認の為運転免許証などをご持参下さい。
- ※遠方から参加される方を優先する場合がありますのでご了承下さい。



青年会

「支部リーダーカンファレンス」

報告

教区青年会は去る4月9日(土)、教務支庁を会場に「支部リーダーカンファレンス」を実施し、支部委員長ら5人が参加した。

夕づとめ後、新体制となって初のねらいがビデオ通話を併用して持たれ、そ

の中で、今年度の行事のミコトコロナにおける開催の仕方や、県内のみならず、おちば在住の岩手に繋がる青年会層、学生層へのアプローチの方法など、多くの意見が交わされた。

さらに、幸せ拾い等の支部行事や定期的実施予定の移動例会、また昨年からの試みである「教区青年会ひのきしん隊」を通して、会員同士の繋がりを強めていく事を確認させて頂いた。翌10日朝食後、解散となった。

行事中止のお知らせ

6月30日に予定されていた「教会長夫妻研修会」は、中止となりました。



日時変更のお知らせ

6月12日に予定されていた「婦人会後継者勉強会」は、6月25日に変更となりました。